




邑久光明園恩賜会館、旧裳掛小・中学校第三分校、奉安殿、物資運搬斜路、瀬溝棧橋



(写真提供: 邑久光明園)

指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	おくこうみょうえんおんしかいかん、きゅうもかけしょう・ちゅうがっこうだいさんぶんこう、ほうあんでん、ぶっしゅうばんしゃろ、せみぞさんばし
所在地	瀬戸内市邑久町虫明字長島
登録年月日	平成31年3月29日
解説	<p>邑久光明園は、明治42年(1909)に大阪府に設立されたが、昭和9年(1934)の室戸台風により壊滅したため長島西部に再建されたハンセン療養施設。</p> <p>恩賜会館は、昭和16年(1941)建設、平成15年(2003)に改修される。半切妻造り妻入りの平屋建てで、正面は中央車寄せ上部の壁面を突出して三連アーチ窓を配するなど特徴的な造形表現とする。敷地中央部に建つ当施設の象徴的存在である。</p> <p>旧裳掛小・中学校第三分校は、木尾湾東側に面しており、木造平屋建て切妻造りセメント瓦葺きの校舎が残る。昭和14年(1939)建設、平成14年(2002)に改修されているが、療養施設附属の学校建設の貴重な遺構である。</p> <p>奉安殿は、昭和18年(1943)敷地北部の高台に建設され、平成21年(2009)に改修されている。鉄筋コンクリート造り切妻造り銅板葺きで、棟上に千木(ちぎ)と堅(かつ)魚(お)木(ぎ)を載せ、外壁の四隅に円柱を表す。類例の少ない療養施設附属のものである。</p> <p>物資運搬斜路は、昭和13年(1938)に敷地南部の波止場に建設された。中央部高台の施設に物資を引き上げるためのコンクリート製のトロッキ軌道で、昭和初期の鋼索式傾斜地輸送設備として貴重な遺構である。</p> <p>瀬溝棧橋は、昭和24年(1949)に施設西部の官舎区の波止場にある石造りの埠頭で、昭和46年(1971)と平成16年(2004)に改修されている。島と本土を結んだ職員用の船着場で、昭和期における療養施設の構成を伝えている。</p>
アクセス方法	<p>【自動車】 岡山ブルーライン「虫明IC」から約5分</p> <p>【電車】 JR赤穂線邑久駅下車、東備バス「愛生園行」光明園下車(約35分)またはタクシーで約20分</p>
公開状況	常時公開
設備	<p>駐車場  トイレ </p> <p>障害者用トイレ </p>
備考	国立療養所内の施設につき、入所者の安全確保に配慮願います。

きつずページ



(写真提供: 邑久光明園)

していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	邑久光明園恩賜会館、旧裳掛小・中学校第三分校、奉安殿、物資運搬斜路、瀬溝棧橋
よみかた	おくこうみょうえんおんしかいかん、きゅうもかけしょう・ちゅうがっこうだいさんぶんこう、ほうあんでん、ぶっしゅうんぱんしゃろ、せみぞさんばし
しょざいち (所在地)	瀬戸内市邑久町虫明字長島
とうろくしたひ (登録した日)	平成31年3月29日
せつめい	邑久光明園は、明治42年(1909)に大阪府に設立されましたが、昭和9年(1934)の室戸台風(むろとたいふう)により壊れたため長島の西部に再建されたハンセン病療養施設です。 恩賜(おんし)会館と旧裳掛小・中学校第三分校、奉安殿、物資運搬斜路、瀬溝棧橋があります。